

みんなで支える看取りを目指して

～看取り委員始動～

静岡県済生会 特別養護老人ホーム小鹿苑
介護職員 碓井友香
介護職員 望月優子

特別養護老人ホーム小鹿苑

昭和62年10月1日開所

- ・デイサービスセンター通所介護部
 - ・ケアプラン部
 - ・小鹿豊田地域包括支援センター
 - ・訪問介護部
 - ・特養部 ・短期入所部
- 2階1フロアにて
長期入居・・・80名
短期入居・・・20名



最大の特徴は!!!

- *病院が敷地内に!
⇒職員玄関出てすぐ
- *嘱託医が週3日来苑!
⇒病院長が回診
- *夜間、救命センター当直医が死亡確認に来苑!



当施設の看取り件数

- 平成27年度・・・12件
- 平成28年度・・・26件
- 平成29年度・・・24件

今までは・・・

看護師主体の看取り



看取りについて考えることも、振り返りもない、
ケアを繰り返していた

介護職員の看取り介護の対しての意識

看護師さんバタバタ
しているな～

受け身

形質的なこと?

看取り加算って何?



意識してその方と向き合っていなかった

看取り介護委員始動！

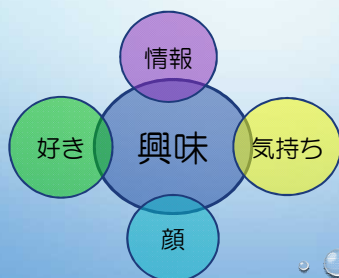
- 平成29年4月発足
- 構成人数
 - ・看護師
 - ・介護員の5名
- 会議:月1回



看取り介護体制づくりの準備として・・・

- ・「看取り」とは何か？
- ・看取り介護の指針を理解
- ・職員全体へ看取り介護についての委員の思いを伝える
- ・各職種の役割の理解
- ・看取り専用の用紙の作成

看取り介護への取り組みによる変化



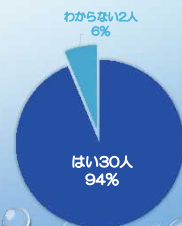
看取りについてのアンケート

意識した看取り介護を行って、
良かったか

※38人中32名回答

はい⇒30名

わからない⇒2名



看取り介護を不安に思うか

はい⇒100%

なんと!!!



アンケート回答者全員が 看取り介護に不安を感じていた!!!

- ・入居者様にとって安心、安楽なのか
- ・思いを本当に汲み取ることができていたのか
- ・誤嚥の危険性が高く、食事介助が怖い時がある
- ・ご家族にどのように声をかければいいのか
- ・夜勤時変化が見られた時、どのタイミングでご家族に連絡すればいいのか

不安を払拭するための課題

- * 振り返りを行う
- * 他職種との連携を密にし、情報共有する
- * 日常から入居者様・ご家族とコミュニケーションをとる⇔信頼関係の構築
- * 当施設の看取り介護についてご家族にも知ってもらう



入居者様・ご家族様とどう向き合うか？
私たちの関わりにかかっている

私たちにできること ～理想的な看取りを目指して～

最期を本人が決めることはできないため、死の決断にはご家族の背負うものは大きい
いろいろな思いがある中でご家族の決断に私たちができることは…

- ・ ご本人様から目を背けない
- ・ 人生の最期まで尊厳を保持した看取り
- ・ 日常生活のケアの延長上としての最期の看取り
- ・ ご家族、職員のいずれも納得できる看取り



『いい人生だった!』

看取り委員 2年目突入!

～今年度の取り組み～

- ・ 月1回看取り委員会開催
- ・ 入居者様のそれまでの日常とつなげられるような工夫
- ・ 食事が少なくなった、活気がない等、気づきがあった場合はどの職種でも発信
- ・ 「看取り介護を終えて」のアンケート用紙の内容を変更

ご清聴ありがとうございました

